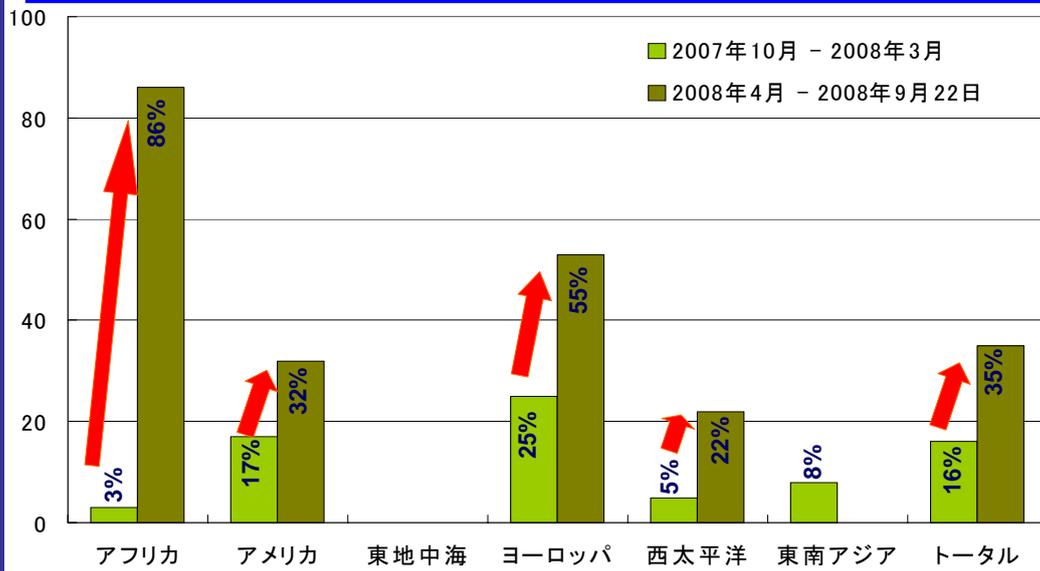


タミフル耐性 A/H1N1 ウイルスの割合



WHO, 22 Sep 2008

国名	検出された耐性株の株数	検出された耐性株の割合 (%)
アフリカ	1	0.4
アメリカ	22	1.6
東地中海	0	0
ヨーロッパ	22	1.6
西太平洋	0	0
東南アジア	0	0
トータル	23	1.6

H1N1分離株のNA遺伝子塩基配列の決定およびNAI薬剤感受性試験によるタミフル耐性株発生頻度

2007年 277株中1株 (0.4%)

2008年 1,360株中22株 (1.6%)

地域別では、本州を中心に全国的に耐性株が散見され、横浜市、鳥取県、栃木県、岐阜市で複数の耐性株が同定された。

しかし、これらの発生頻度は欧米や香港などの諸外国に比べて著しく低く、これまでの国内での頻度と比べても特別に高いとはいえなかった。

2007年に報告された日本脳炎患者

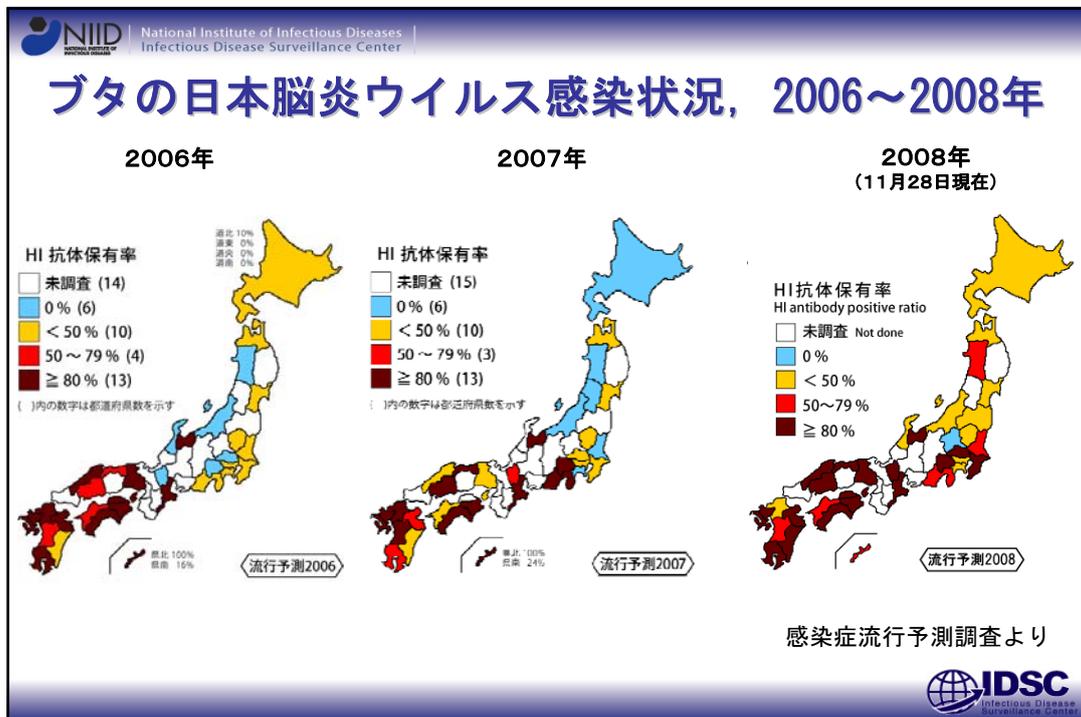
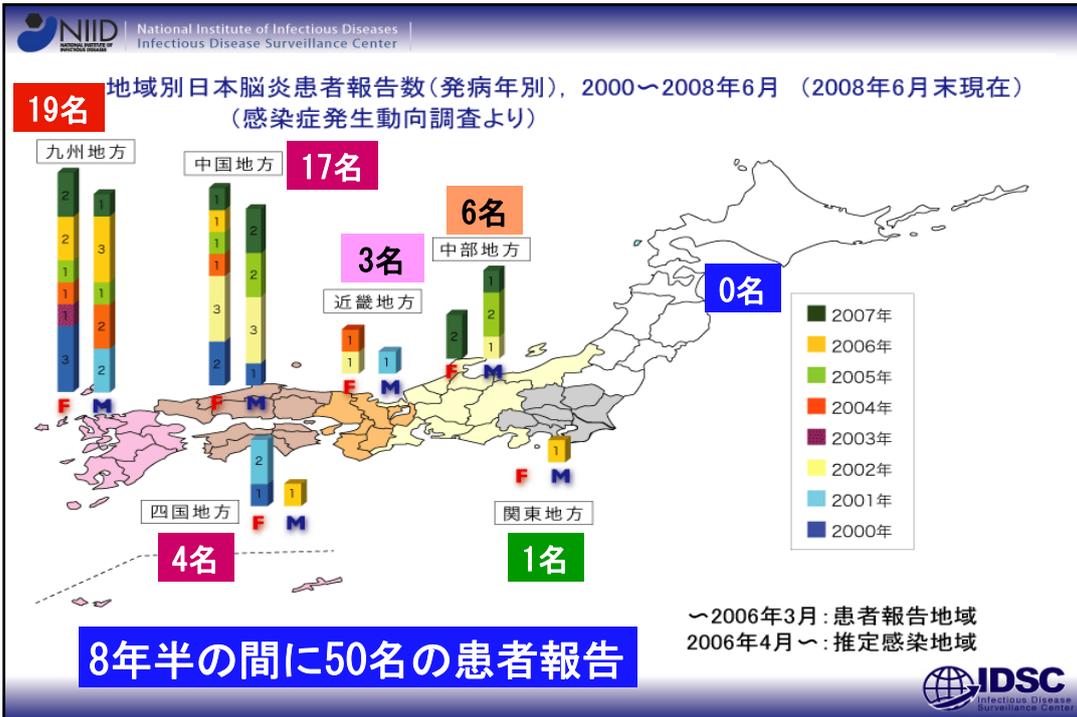
報告週	報告自治体	感染地域	年代	性別
・第11週	広島県	茨城県	10代(発病は2006年)	男性
・第39週	熊本県	熊本県	60代	女性
・第39週	福岡県	福岡県	40代	男性
・第43週	石川県	石川県	80代	死亡 女性
・第43週	福岡県	福岡県	70代	女性
・第44週	石川県	石川県	60代	男性
・第44週	山口県	山口県	60代	男性
・第45週	島根県	島根県	70代	女性
・第47週	愛知県	愛知県	40代	死亡 女性
・第51週	鳥取県	鳥取県	40代	男性

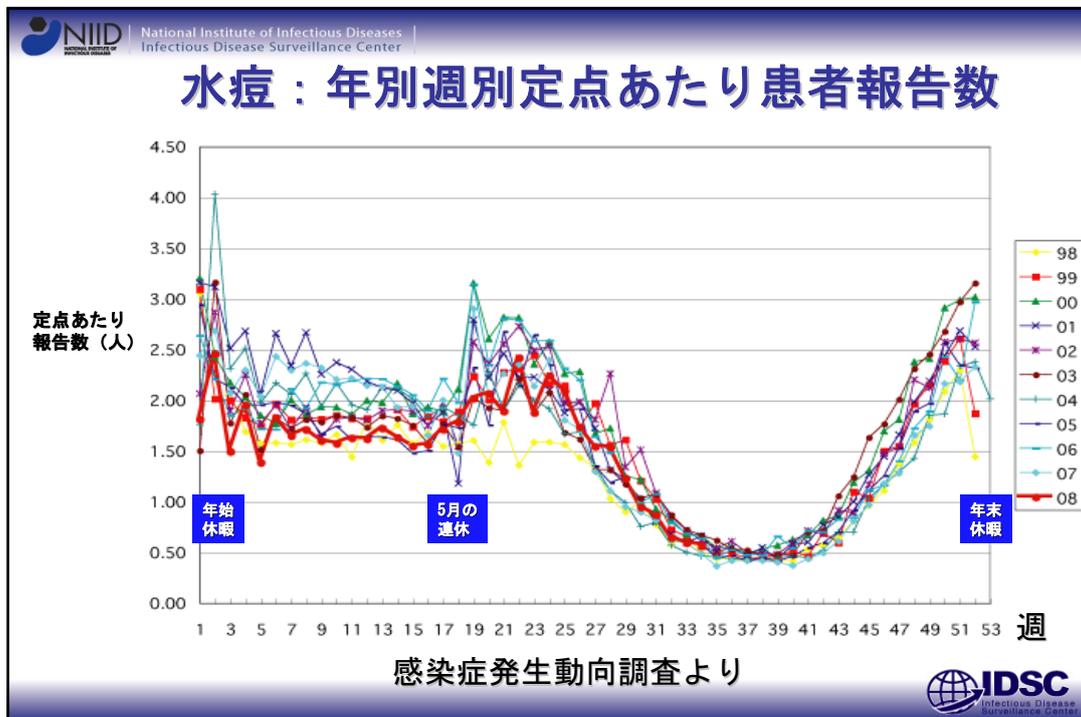
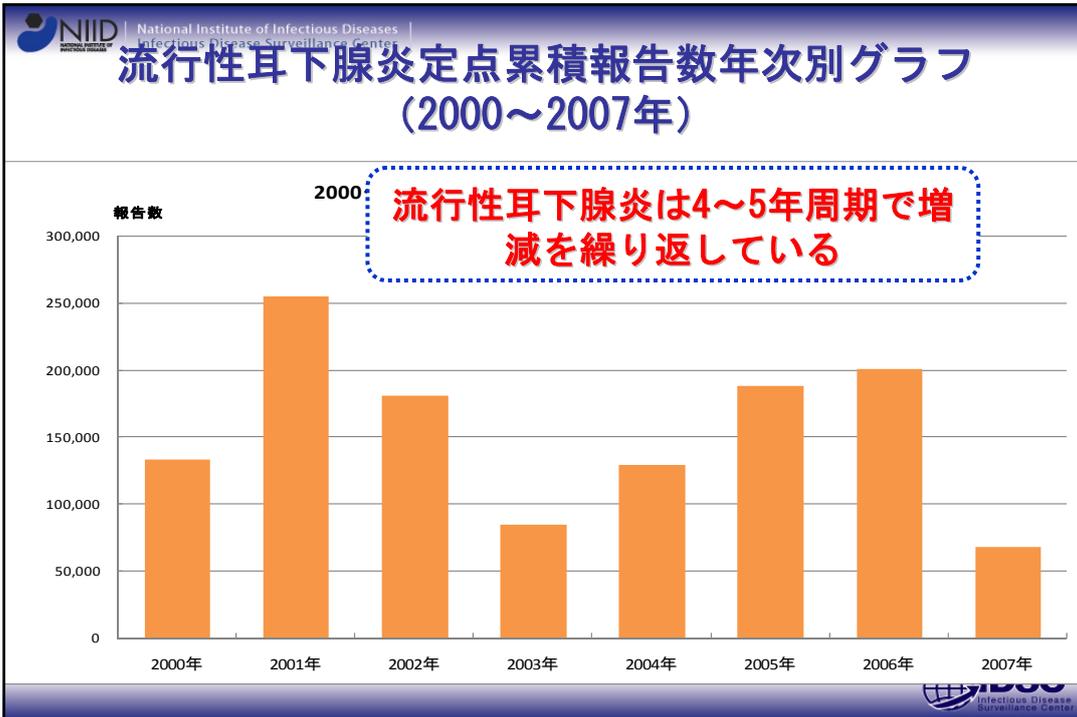
感染症発生動向調査より

2008年に報告された日本脳炎患者 2008年11月6日現在

診断週	報告自治体	感染地域	年代	性別
・第35週	茨城県	茨城県	60代	男性
・第39週	愛知県	愛知県/奈良県	50代	男性
・第43週	茨城県	茨城県	50代	男性

感染症発生動向調査より





ある感染症（新型インフルエンザに限らず）が流行した時に、
**よくある感染症もはやり始めたら、
ダブルパンチ・トリプルパンチ！**
（乳児健診、一般予防接種まで手が回らない）

- ポリオ（小児まひ）
 - 麻疹（はしか）、風疹
 - 結核
 - ジフテリア、百日咳、破傷風
 - 日本脳炎
 - ムンプス（おたふくかぜ）、水痘（水ぼうそう）、
 - ヘモフィルスインフルエンザ、肺炎球菌
- これらは今日からでも明日からでも、
新型インフルエンザ流行時のリスクを減らします



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

国立感染症研究所 感染症情報センター

岡部信彦センター長



第一室（谷口清州室長）神谷 元、菅原民枝、大日康史、森兼啓太
重松美加、松井珠乃、中島一敏、砂川富正、大山卓昭

第二室（多田有希室長）齊藤剛仁、島田智恵、安井良則、山下和予

第三室（多屋馨子室長）山本久美、佐藤 弘、新井 智

第四室（藤本嗣人室長）松野重夫

第五室（伊藤健一郎室長）

第六室（木村博一室長）

国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース（FETP-J）



表. 脳炎合併の報告があった麻疹症例(2008年第1~43週)

診断週	感染地域	性別	年齢	病型	接種歴	転帰
第4週	北海道	女	10代	臨床診断例	無	軽快
第4週	神奈川県	男	20代	検査診断例	無	軽快
第5週	神奈川県	男	30代	臨床診断例	無	軽快
第9週	北海道	女	20代	検査診断例	無	
第16週	千葉県	女	40代	修飾麻疹(検査診断例)	不明	
第26週	神奈川県	男	20代	検査診断例	1回(1歳時、親の記憶)	高次脳機能障害
第29週	神奈川県	男	10代	検査診断例	無	
第31週	東京都	男	40代	修飾麻疹(検査診断例)	不明	

1999年から2007年にかけての先天性風疹症候群(CRS)の報告状況

年(西暦)	CRS報告数	報告県
1999年	0	
2000年	1	大阪
2001年	1	宮崎
2002年	1	岡山
2003年	1	広島
2004年	10	岡山(2)、東京(3)、 鹿児島(1)、神奈川(1)、 熊本(1)、長野(1)、 大分(1)
2005年	2	愛知、大阪
2006年	0	
2007年	0	

(感染症発生動向調査より)

年齢群別新登録患者数の3年間の動き

	2004 (平成16) 年	2005 (平成17) 年	2006 (平成18) 年
新登録患者数 (人) 〈罹患率：10万対率〉	29,736 〈23.3〉	28,319 〈22.2〉	26,384 〈20.6〉
0～14歳 (%)	117 (0.4%)	117 (0.4%)	85 (0.3%)
15～19歳 (%)	302 (1.0%)	284 (1.0%)	214 (0.8%)
20～39歳 (%)	5,266 (17.7%)	4,980 (17.6%)	4,486 (17.0%)
40～59歳 (%)	6,337 (21.3%)	5,896 (20.8%)	5,373 (20.4%)
60～79歳 (%)	11,489 (38.6%)	10,660 (37.6%)	9,946 (37.7%)
80歳以上 (%)	6,225 (20.9%)	6,382 (22.5%)	6,280 (23.8%)

結核研究所HP：「結核の統計2007」より

水痘による入院例、死亡例調査（平成17年1月～12月：回収率37.3%）

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究
主任研究者：岡部信彦、分担研究者：神谷 齊、淡野喜造、堤 裕幸、多屋響子

